



2016~2017

# 沼田ロータリークラブ会報

人類に奉仕するロータリー  
ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 小菅茂雄 幹事 西田俊太郎 会報編集 綿貫利彦  
例会場 ティラン 事務所 沼田市西倉内町669-1 沼田商工会議所3階 TEL 0278-24-1177

第2926回 例会報告

2017年3月21日

記録 綿貫利彦

例会予告

3/28 市政報告 市議会議長 星野稔 先生

4/4 渋川RC60周年記念式典

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2017年4月4日発行 No.36

沼田中央RC合同例会

於 ホテル・ベラヴィータ

## バングラディッシュでの遠隔医療を通じて

利根沼田中央病院外科部長 郡 隆之先生



### ■講師紹介

津久井功君

バングラディッシュの事業は、藤岡南RCの米山奨学生で群大大学院医師のバングラ人に2011年9月沼田RC4人で会って、国の状況を聞き、力になれば、ヒ素の問題は世界中で問題になっていることも知り、検討することになりました。

患者は症状を見たり濃度を監視して対処する必要があり、そのためには専門医が必要で遠隔医療が適しています。どこでそのシステムを研究しているか調べたら、遠隔医療学会があり、その第一人者が利根中央病院の郡先生と知りました。近くにいる先生に全面的に支援指導していただけることで、この事業が実現的になりました。

地区のグローバル補助金で事業を組んで申請しました。たまたまこのシステム開発事業者の社長の奥様がやはり米山奨学生出身で、無償提供もしていただけ、ロータリーの力を感じました。

13年7月申請して、英語手続が大変でしたが何とか乗り切り、15年6月山田年度になりましたが、現地で贈呈式を行いスタートしました。

今申請しているのは、それを広めるための人材育成が必要で、医師と技術者を育てるために医療指導チームで現地と日本で研修するというものです。

今日は先生からシステムや現地の現状を説明いただき、理解を深めていただければと思

います。

## ■講 演

群大医学部を卒業し外科医をしています。妻が白沢町出身なので利根中央に勤務しており、皆さんの中に何人か治療させていただいた顔が見られます。主に外科手術ですが、遠隔医療についても研究、実施しています。日本遠隔医療協会副理事や厚労省の遠隔医療研究班というのがあり参加しています。また、日本医療機器開発機構で遠隔医療システム等開発もしていて、日本だけでなくアジア遠隔医療研修所を設立して代表理事も務め世界でも対応してまいりたいと思っています。

以前ヒ素中毒事件があり死者が出たことがあったり、少量摂取していると慢性中毒にもなり、50gで死亡する猛毒なものです。日本には天然なものはないのですが、知らずに摂取していると数年で体に変化が表れ、皮膚ガンや心臓などで亡くなってしまい、女性は早産や障害児出産の可能性が高まり、社会的問題になっています。

世界では慢性ヒ素中毒患者が70カ国、1億3000万人以上いると言われ、アジアではヒマラヤ山脈の水に含まれていて、インドやバングラ等で大きな問題となっています。

バングラは世界一人口密度が高く、海外援助で井戸を多く掘り、3500ある井戸の3割にヒ素が入っていて、3200万人がそれを利用して、その水がないと生活できない状況です。死亡原因の70%が中毒によるものです。

川は流れているのですが、とても生活用水とはならず、上下水道も整備されていません。医師は更に少なく、その中でもヒ素治療できる医師は更に少なく、県庁所在地な町に1人いれば良いほうで、まわりの村へは月一度行ければというくらいです。

こういう状況の中では、遠隔医療システムが有効となり、IT技術を使い中央の病院から地方の診療所でTV電話や通信を使って、患者の状態を見て、医療指示を行えます。

利根沼田でも救急医療で使い、救急車から病院に患者情報を伝え、到着までの間に準備してもらったり、ガンなどは地域病院から専門病院につなぎ見てもらうなど、患者の負担や医師の負担を少なくして、医療の質の向上

と医療の高度化が図れることとなります。

2000年から研究を始め、私もネットで現場をつないで手術など指示をして、最近は一メーカーと共同で技術開発を行い、今回の業者とは6年前より協力して開発を進めてました。

利根沼田の医療機関は全て導入済みで、厚労省からアセアンの会議で説明を依頼され、TVやマスコミにも取り上げられています。通信の進歩とともに今ではスマホでも対応でき、自宅でも出張先でも対応でき、更なる進歩を感じます。

沼田RCより相談を受け2年前に始めました。ダッカに行き、県の中央の病院に行ったのですが、医師は5～6人、ベットも数10交通網も道路整備が悪く、診療所へは船で近くまで行き、その医師に説明して何とか稼働できるようにしてきました。衛生環境や治安も悪く大変でした。

海外貢献事業の場合、設置して終わってしまう場合が多く、その後活かされていないことが多くあります。今の利用状況は年316人を治療して現地でも大変喜ばれ、他地域にも広げたいと思っています。沼田からバングラの人を治療でき、初期治療により助けられています。この内容は学会でも発表しましたし、アセアンの10カ国会議でも講演をして、いろいろな国から要望されました。法人でないと支援を受けずらいので、海外活動できる法人を設立、アジアの人々が遠隔医療で負担少なく治療できることを目的として、対面医療を援助していきたいと思っています。

今回バングラでは、スタッフ教育を沼田RCの支援で進められることになりました。バングラでのスキームを他地区に導入して、人々が少しでも安心して生活できるようにしたいと思います。群大ではヒ素水除去技術を開発したそうで、その開発した先生は、以前アフリカの研究所にいたとき、上司がバングラの方で共にヒ素研究を行い、日本に戻ってそれを完成させたという縁もあり、協力を依頼しました。

皆様のお陰で私も多く勉強させられ、やりがいのあるものでした。人材育成により次へつながり、現地は大変な所ではありますが、続けてまいりたいと思っています。

## 例会報告



- 司会 木下康彦君
- ソング 奉仕の理想 関 真一君
- 来賓及び来訪ロータリアン  
利根中央病院外科部長 郡 隆之様

### ◎沼田RC小菅茂雄会長

今日は沼田中央RCとの合同例会で、2011年以来6年ぶりとなります。2000年以前は5回、その後6回合同例会を行っています。親睦ゴルフは年2回位ありますが、例会も年1回位はできればと、永井会長と話して実現できました。

今回は当クラブがバングラディッシュで行った遠隔医療について、全面協力指導いただいた郡先生に講演いただきます。

日本より人口が多く1億6000万人もいますが、医師が少なく15万人に1人の割合ですので、関係するスタッフも少ない状況です。ヒ素中毒者が3000万人もいて、WHOも対応を考えているような大事業を、ロータリークラブ、しかも地方の沼田で支援しているということを多くの方に知っていただきたいと思います。両クラブはロータリー精神に則り、世界平和、人類の幸福を願っていることを深

く理解していただきたいと思います。

連携と親睦を高めて、有意義な例会にしていきたいと思います。

### ◎沼田中央RC永井寛之会長

小菅会長にぜひ合同例会をと打ち合わせをして本日久々にできることになりありがとうございます。

沼田RCの海外での奉仕事業は、ミャンマーなど多くの事業を行って活躍されています。当クラブも学んで、今後検討していきたいと思っています。

一隅を照らすという言葉がありますが、これはロータリーに適したものと思います。東京RCは100周年を迎え、人のためにつくすという超私の奉仕につながり、シェルトンの考えにも通じます。

世界平和を沼田から発信していただきたいと思っています。

本日は設営していただいた沼田RCに感謝申し上げます、実りある例会にしたいと思います。

### 幹事報告

西田俊太郎幹事

#### ◎地区グローバル補助金について

バングラディッシュでの指導者育成と先進遠隔医療システム実務研修が採択されました。

#### ◎地区財団100周年事業

FMぐんまでPRCMを開始

#### ◎ゴルフ親睦コンペ開催

5月10日初穂CC

### 委員会報告

#### ◎ニコニコ委員会

荒井静雄委員

・小菅茂雄君 国際奉仕事業で大変お世話になっている郡先生をお迎えして講演いただき心よりお礼申し上げます。久しぶりの沼田中央RC合同例会楽しみです。

・笹川正之君 郡先生をお迎えでき。遠隔医療に期待しています。

#### ・ニコニコ週間 合同例会を記念して

阿形登氏君	赤間昌彦君	天野純一君
今井幸吉君	春日政志君	石澤雄一郎君
櫛渕光彦君	桑原 滋君	桑原伸一郎君
桑原敏彦君	松野正一君	峯川卓美君
宮田徳彦君	宮内明彦君	宮澤孝幸君
南雲達也君	斎藤正典君	西田俊太郎君
関 真一君	戸部聖之君	小野里雅広君
津久井功君	割田一敏君	山宮敏夫君